

千葉県北西部における外国人居住者の居住状況に関する研究

日大生産工(院) ○栗岡 雅己
日大生産工 山岸 輝樹

1. はじめに

日本における外国人居住者が首都圏を中心に外国人居住者が増加し、全国各地に広がっている。また、一時的な単身世帯から長期的な家族定住へと変化していると言われている。そこで、よりよい共生の姿を模索していくことが必要である。人口減っている日本では、外国人が定住し、快適に暮らす環境を整えていくべきであると考えられる。

将来的に外国人との共生を目指すためには、外国人居住者が増加している地域での実態を把握し、共生への取り組みをより良いものにしていくことが必要である。

本研究では、都心近郊を中心に住民が集積している地域もあり、過疎地を含む地域性が多様な千葉県の中で、千葉県北西部周辺を対象に外国人居住の実態を明らかにすることを目的とする。

2. 外国人居住者の流入の流れ

千葉県における外国人数は167, 175人(令和2年6月末集計)で、東日本大震災により一度減少したものの各外国人に対する施策に合わせ増加しており、県に占める割合は2.66%となっている。

表1 千葉県における外国人数の推移 (1)



3. 千葉県北西部における外国人数

千葉県北西部は、東京に隣接し都心への公共交通機関が充実し、一方で自然豊かな居住環境も有しているが、外国人居住者は都心への距離

に必ずしも比例しているといえず、国籍や地域性によって交通の便に関わらず、外国人が多い地域が見られる。

表2 千葉県北西部における12か国の国籍別在留外国人数 令和3年10月末集計 (2)

国・地域名	市内集計	ドブカニスタ	ミャンマー	スリランカ	中国	インド	ネパール	バングラデシュ	フィリピン	ベトナム	米国	ブラジル	ペルー
千葉県計	1,531	1,808	5,437	53,983	1,882	7,609	1,560	19,630	24,503	2,206	3,532	2,629	
千葉市計	83	287	529	11,985	271	1,023	61	2,745	3,425	391	361	290	
千葉市	1	64	101	2,329	66	263	13	789	833	97	65	36	
中央区	17	65	92	1,405	56	320	11	410	736	94	189	166	
花見川区	29	34	37	1,674	48	188	9	346	526	42	31	25	
稲毛区	34	23	227	1,069	19	155	9	782	464	26	39	19	
若葉区	1	12	35	476	17	144	4	187	232	35	28	21	
美浜区	2	89	37	5,034	65	53	24	251	634	97	19	23	
市川市	3	2	359	438	6,612	615	1,408	140	1,535	1,878	271	117	161
船橋市	2	1	166	320	7,802	147	1,210	72	1,293	3,673	214	390	147
松戸市	4	11	190	300	7,236	99	705	121	1,818	2,662	176	98	94
野田市	4	12	53	29	115	730	85	180	361	676	544	19	63
成田市	7	6	60	540	805	30	651	22	901	858	54	102	346
佐倉市	11	560	39	96	681	47	147	20	531	413	52	107	211
習志野市	9	18	73	1,409	15	353	25	525	776	67	201	90	
柏市	5	50	260	3,691	75	335	155	988	1,449	156	109	87	
八千代市	8	5	25	165	1,323	47	432	32	855	999	62	676	383
勝田町	17	711	19	68	554	9	37	34	225	217	22	26	9
国・地域別平均	17	15	7	1	14	5	16	3	2	12	8	11	

4. 千葉県北西部の外国人へのヒアリング調査

今回は千葉県美浜区でヒアリング調査を行い、5人の外国人居住者の協力が得られた。

5-1 調査対象者の概要(表3)

3人が20代で、30代が2人であり、来日年数が5年以上が3人、5年未満が2人となっており全員が留学を目的に来日している。現在の職業は2人が学生であり、事務、主婦、無回答だが上野で働く調査対象者が1人ずつであった。日本国内で引っ越しをし、母国に帰る予定がない人が多く、日本で結婚をしている人もいる為、定住思考が高い。

5-2 日本での生活状況(表4)

日本語でのコミュニケーションは、4人が比較的得意、来日年数が1年未満である1人が少し苦手であり、日本に来たことを理由に積極的に日本語でのコミュニケーションをする人は、3人であり、友人とはするが1人、主婦のためしていないが1人であった。日常生活に必要なこと知る場所は、インターネットと友人が同数であり、千葉で洪水や近年の地震被害の経験もなく、現状では困っている様子はない。平日は仕事や家事、学業をそれぞれ行っており、休日は、「車で出かける」「家族で公園に行く」「家で

A Study on the Living Conditions of Foreign Residents in Northwestern Chiba Prefecture

Masaki KURIOKA and Teruki YAMAGISHI

ゆっくりする」「友人と遊んだり自転車で出かける」「友人と遊ぶ」というように4人が自宅外に出ている。

5-3 日本での居住状況(表5)

住居を探した方法は、以前の住居を含め、インターネットが3人でそのうちの1人が会社の宿舎、もう1人がUR^{注1)}、友人の紹介が1人、自身が経営している会社の不動産サイトが1人である。来日当初の住むまでに苦労したことは、手続きが2人言語が2人、日本の壁が母国に比べ薄い1人であり、外国人入居可の物件を検索するが、入居者対応時の日本語での手続きが困難であったことが想定される。現在の住居を選んだ理由は、職場が近い会社の宿舎、住みやすさと幼稚園やスーパーが近い、妻の職場が近い、学校が近い友人の紹介、学校が近いであり、職場や学校に近い居住地を選択している。

現在の居住地が住みやすいかは、「住みやすい」が3人、「住みにくい」が1人、「どちらでもない」が1人で、住みやすいところは、「住宅街で静か」「買い物先が近い」「公園、海がある」「遊び先、買い物先が近い、電車が安い」が挙げられ、住みにくいところは、「電車交通が不便」「隣人がうるさい」「友人がいない、交通費が高い、近くに飲食店がない」が挙げられた。

知らないことがあり、困ったときにどこで調べるかは、「インターネット」が4人、「友人が1人」であった。

5-4 日本での生活範囲(表6)

表6①の調査対象者は、自宅と同じ駅周辺に職場と買い物先があり、平日は自宅と職場を生活範囲とし、休日は車で数時間移動し、東京や神奈川に出かけ、生活範囲を広げている。③の調査対象者は、自宅と同じ駅周辺に買い物先のみがあり、平日は自宅と電車で1時間程度移動した職場を生活範囲とし、休日は「自宅で妻とゆっくりする」生活範囲は狭くなっている。

5. まとめ

本論では、千葉県北西部における外国人居住者は、留学後、日本で就職し日本国内で、定住している傾向がある。住みやすさだけでなく交通の便を考え職場を中心に生活している可能性がある。今後は、外国人労働者の調査を中心に進めていく必要がある。

注釈

注1) 「UR」はUR賃貸住宅を略した言葉とする。

参考文献

- 1) 千葉県ホームページ令和2年時12月末住民基本台帳による外国人数(第表1)
- 2) 千葉県ホームページ令和2年時12月末住民基本台帳による外国人数(第表6)
- 3) 北原玲子、大月敏雄：東京都北区のパングラディッシュ国籍在留外国人の居住環境に関する研究

表3 調査対象者の概要

	①	②	③	④	⑤
年齢	20代	30代	30代	20代	20代
来日年数	6年	10年	7年	04年	3年
出身地	中国 上海	中国	中国 ハルビン	中国 北塘(ほくとう)	中国 北京
来日目的	留学	留学	留学	留学	留学
職業	事務	主婦	無回答	学生	学生
居住の流れ	上海→日本の現在と別の市→四街道市	中国→留学先付近→美浜の森	中国→日本国内のどこか→高浜団地	中国 北塘(ほくとう)→西千果→中国で就職予定	中国 北京→世田谷→松漣三丁目

表4 日本での日常生活の状況

	①	②	③	④	⑤
日本語でのコミュニケーション	得意	少し得意	少し得意	少し苦手	少し得意
日本人とのコミュニケーションを積極的に取るか	している	していない	友達とはする	している	している
日常生活に必要なことを知る場所	インターネット	インターネット	基本的にインターネット、友人	友人	友人
平日の過ごし方	仕事	家の家事	仕事	学校	学校・ライブ
休日の過ごし方	車で東京や神奈川に出かける	家族で公園に行く	家でゆっくりする	友人と遊ぶ、自転車で出かける	友人と遊ぶ

表5 日本での居住状況

	①	②	③	④	⑤
住居を探した方法	会社の宿舎、インターネット	インターネット	UR、インターネット	友人の紹介	自身の不動産サイト
住むまでに苦労したこと	手続き	言語	言語	手続き	日本の壁が薄い
現在の住居を選んだ理由	職場が近い、会社の宿舎、選んだというよりそこしかない	住みやすさ、幼稚園やスーパーが近い	妻の職場が近い	学校が近い、友人の紹介	学校が近い
和室に対して思うこと	匂いが家になる、退去時に費用が掛かる、洋室の方がいい	匂いが嫌	特になし	特になし	匂いが家になる、掃除が難しい、退去時の費用がからない
母国の影響を受けたところ	特になし(母国では外干し、日本では部屋干し)	特になし(日本食の味が薄い、部屋が狭い)	日本の部屋が小さいと感じる	部屋が狭い	コミュニケーションの熱量が違う
町の住みやすいか	どちらでもない	住みやすい	住みやすい	住みやすい	住みにくい
住みやすいところ	住宅街のため、静か	買い物先が近い	公園、海がある	遊び先、買い物先、電車が安い	特になし
住みにくいところ	交通が不便	隣人がうるさい	電車が不便	今のところない	友人がいない、交通費が高い、近くに飲食店がない
住まいに対して困っていること	特になし	特になし	特になし	友人がいるため、問題なし	隣の部屋の音が聞こえる
知らないことがあり、困ったときにどこで調べるか	インターネット	インターネット	インターネット	友人	インターネット

表6 日本での生活範囲

